



コミュニティ・スクールだより

令和5年度 No.39 東温市立上林小学校

3月4日(月)読み聞かせボランティアの大西さんによる「お話広場」

昨年度に引き続き、大西さんの御協力のもと「お話広場」を開催していただきました。前半は「象」をテーマに様々な絵本の読み聞かせをしていただきました。後半は6年生に向けて卒業のお祝いメッセージをいただきました。大西さん手作りのたんぽぽの綿毛を手にとった子どもたちから、温かい笑顔があふれました。最後に、大西さんと歌手のみふいたさんからサプライズがあり、子どもたちがつくった秋の俳句をもとに「ふるさとめぐり上林の歌」をプレゼントしていただきました。なんと!子どもたち全員にCDを手渡していただきました。9月に前園実知雄先生と一緒にいったふるさとめぐりでの俳句が、素敵な歌になりました!大西さん、みふいたさん、ありがとうございました。



「ふるさとめぐり上林」のCDを手にする6年生

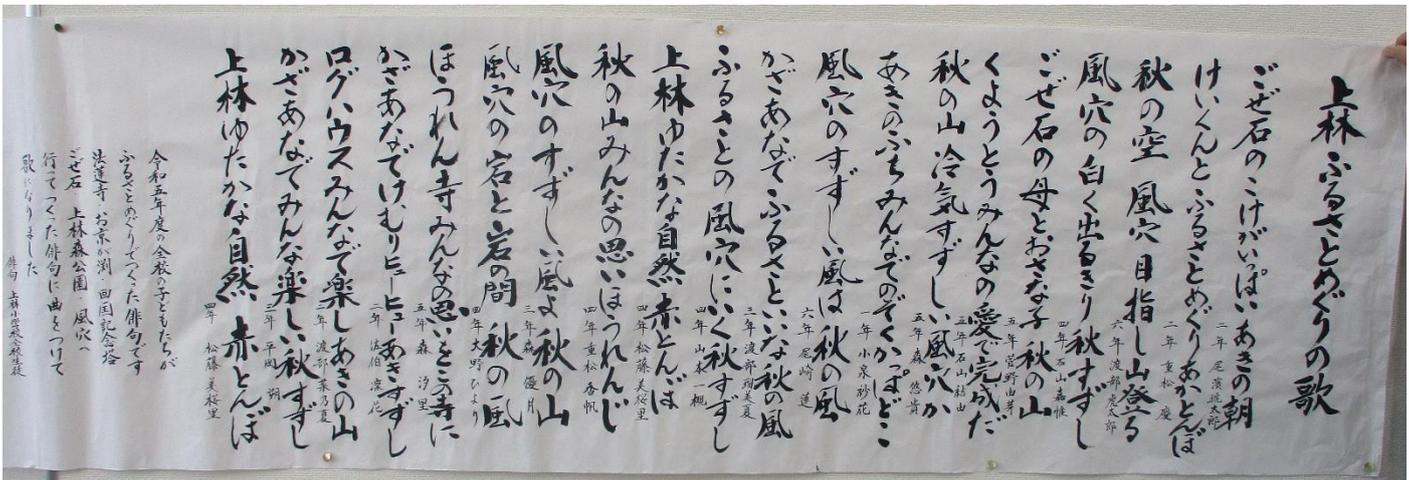


読み聞かせに引き込まれる子どもたち

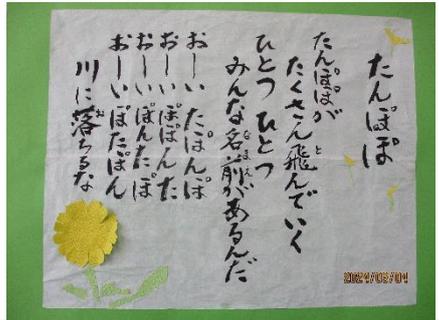


大西さん手作りのたんぽぽの綿毛を飛ばそうとする子どもたち





大西さんが書かれた「ふるさとめぐり上林」の歌詞です。子どもたち一人一人の名前も書いてあります。



大西さん直筆の「たんぼぼ」

菅能字吉さんの末娘 高原カネ子さんより絵本を寄贈していただきました

平和をテーマにした絵本「平和の木」(長崎源太郎・著)と「ネパールにかける にじの橋」(大西伝一郎・文)の二冊を寄贈していただきました。ありがとうございました!

長崎源之助さんは、多くの感動的な作品を生み出した日本の児童文学作家です。作品の中でも、「平和の木」は特に有名な絵本です。

この物語は、戦争中広島に原爆が投下された後、爆心地から約 1 キロ離れた場所にあるエノキの木を中心にストーリーが展開されています。このエノキの木は被爆して、枝が折れたり幹がえぐりとられたりしていましたが、戦後地元の小学生たちが世話をしていました。この実話をもとに、人々が共に助け合い、平和を築くことの大切さを伝えています。



高原カネ子さんと娘さんたち